

丹後で安心して子どもを産み育てられるあったか府政の実現を

日本共産党京丹後市会議員団が京都府と要求交渉

一月一九日、日本共産党京丹後市会議員団は、府会議員団と共に丹後広域振興局で京都府に対し、住民のいのち・暮らし、健康を守れと要求交渉を行いました。



京丹後の医療問題、大型クラゲ、雪害対策、道路・河川改良など、京丹後市民のいのち・暮らし・健康に大きな影響のある問題について、住民の切実な要求の実現と、改善を求める交渉を行いました。府は、奥田丹後広域振興局長、三管丹後土木事務所技術次長、杉原教育局室長など各部署の担当者と交渉しました。



○医療問題

弥栄病院では、産科の受け入れを3月いっぱいであち切ることが言われており、他に産科は市内ではふるさと病院だけとなります。しかし、その数も月に20名が限度で、年間500名の出産件数にはとても対応しきれないものはありません。

弥栄病院の産科をなくすことは、京丹後市で子どもを安心して産めない事態を引き起こすものです。府の責任で医者を確保することを強く要求しました。

府は、「対応はしているが確保できていない。市と何ができるのか打ち合わせたい。」と対策の遅れが明らかになりました。

○大型クラゲ対策について

大型クラゲによる被害で漁業関係者が、営業が成り立たず生活が大変な状況になっていることから、保障などについて要求しました。

○雪害対策について

高齢化の中、屋根の雪下ろしなどの除雪は、命に関わる問題であり、府としての対策を強化し、市と共に雪害に対して早急に対応できるように申し入れました。

○雪害対策、産科問題で市に申し入れ

1月13日に市会議員団は雪害対策で、国営農地の道路の除雪について、農民連の人たちと一緒に農林部へ申し入れました。早速市が除雪し、農業関係者に喜ばれました。

さらに、1月24日には、現地調査に基づき①高齢者等住宅除雪費補助制度の創設②ボランティア受け入れ窓口の創設。産科問題では①公立病院としての弥栄病院の産科を充実、存続をさせること、②小児科の充実をの2点についての要望を1月中旬に市長が会って回答するように申し入れました。

衣笠洋子さんと心かよう府政を



ご意見など お気軽に連絡下さい	
松田 せいけい	Tel 82-0755
森 まさる	Tel 72-1761
平林 ちえみ	Tel 65-3663

日本共産党 2006年1月25日発行
市会議員団ニュース
 Tel 62-1159